

情熱が愛した  
GT-R

GT-Rの魅力を伝える  
GT-Rの魅力を伝える  
GT-Rの魅力を伝える



GT-Rの魅力を伝える  
GT-Rの魅力を伝える  
GT-Rの魅力を伝える



スカイライン誕生50周年の節目に、ハコスカ・ケンメリGT-Rのスペシャリスト4名が集まっていただき、自由にGT-Rについての想いを語っていただきました。



2007年1月16日(火)  
株式会社ファインパーツにて開催

# GT-R 座談会

- 参加者：
- 株式会社ファインパーツ  
代表取締役社長 黒田義光
  - シライシエンジニアリング  
代表 白石茂樹
  - ロッキーオート  
代表取締役社長 渡辺喜也
  - プロテック  
代表 袖本徳明
- 司会進行役：
- ノスタルジックカーショー実行委員長  
開始

あの熱い記憶をもういちど、スカイラインとの出会い、GT-Rの歴史を振り返る。

司会 まずはじめにスカイラインGT-Rとの出会いをお聞かせください。

黒田 一番最初のGT-Rは富士スピードウェイ。たしか16、17歳の頃から絶対に買うと決心していました。幸いおやじが理解がありましたから、例えは現金を出してもらって、あとは自分で月賦を返すとか、小学校5年の時から新聞配達をやって、それを元手にGT-Rを買った記憶があります。なんせお父さんがあるのって……(笑)。

司会 それで実際、購入したときの値段は？

黒田 たしか一番手頃な値段で120万〜130万。当時ケンメリが110万から120万くらいでしたから、新車のケンメリを買うか、GT-Rの古いやつを買うかという選択でした。

司会 初めての乗った感想は？

黒田 速い！だからサバンナとかロータリーターボを見つけると追っかける。シャットアップして追っかけるの。

司会 そのGT-Rは何年くらいお乗りになったんですか？

黒田 2年半くらいです。残念ながら事故で終わりました。トラックの側面にまともによつかった。

エアバックもなくて、シートベルトもしてなかったのって、細いGT-Rのハンドルが私のおなかの食い込んで、背骨とハンドルの間で腸が変形をあげました。だから私は、腸は半分しかないんです。おかげさまで、メタボリファクター群はないんです。

白石 私がGT-Rに最初に乗ったのは、51歳のGT-R。Rが出たばかりのころです。所有者の方と親しくして、試乗させてもらったんです。GT-Rはいとも簡単に180キロが出ました。その時にプロペラシャフトの振動を初めて経験しまして、「これなんだ」と。

司会 それで買われたんですか？

白石 いやいや。値段が半端じゃない。なら、これをいじるほうに回ろうと思っただけです。エンジンはいじるほうに回るのはどうするかというん、プリンスに入るかプリンスの東京販売のスポーツコーナーに入るか、どちらかなんです。結局、東販のスポーツコーナーに入社して、最初の一年は研修で営業マンをやりました。

司会 実際、最初にスポーツコーナーでGT-Rを触りだした時の印象はどうだったんですか？

白石 楽しかったです。もう一週間はミッションをばらしました。当時、スポーツコーナーの一番の大きな仕事というのは、レースのサポートです。





■プロテック 代表 柏本徳明

[1941.9.30生まれ 血液型A型]
高校を卒業してすぐに整備士に。
20歳のころ、憧れだったホンダGT-R-S20のエンジン音に魅了され、
それはGT-Rの執念的な愛着家。
自らの車をサーキットで走らせながら、
次第にGT-Rの優秀なメカニクスとして名前も知られ、
現在はS20のスペシャリストとして注目されている。

それと、東販にはエンジンショップというのがある。品川工場にありまして、普通の支店では満足できない方、エンジンショップでも満足できない方から特別なオーダーをうけていました。
司会 まだ当時は発売から年数がたつていまして、オーバードライヴはなかったですね。
白石 いやいや、もうあの頃からばんばんとヘッドは割れていましたし、マフションは割れるし、18年、19年頃でもヘッドは割れていましたから。
司会 いやあ、あの頃からもヘッドはよく割れたわけですね。
白石 やっぱ、あれは個体差ですね。割れたヘッドを、渋谷あたりの工場に持っていて、溶接してもらったことがありますけれど、やっぱり一切直りませんでした。
司会 でも当時、部品はあったわけですね。
白石 部品はありましたから、アッシーとかヘッドなんかはありましたけれど、それは買えないよ、という人がいると、どうしてもしようがない。結局、渋谷の金属工場へ持っていて溶接してもらいました。でも、やっぱり割れちゃうんです。
司会 白石さんといえばS20の排気量をいじらないでパワーを出すということですね。
白石 S20というエンジンはボテ

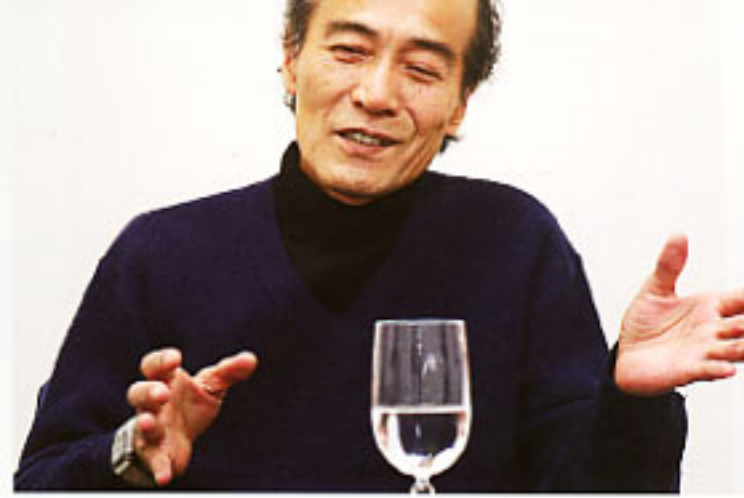
ンシヤルが大変にありまして、通常走るのであれば1888rpmで、まず物足りないと言われることはない。それはわかってはいるので、あえてやらない。それでずっと来たわけですね。
司会 S20の限界はどのあたり？
白石 いや、まだ限界までは来ていない。あとは空気の吸い。テストで分析してみても、あるところから、タイムが縮みにくくなる。そこから道が空気の吸いやすくないかなし、そういう気はしています。
司会 道邊さんとスカイラインの出会いとは？
道邊 黒田さんも乗っていたんですが、僕もホンダのCRに乗りかかっていたんです。でも、親に「そんなもの乗ってやって命落とすよ」といわれて、車を変えろ、って言われて、当時僕は17歳ですから免許を取る1年前からスカイラインに乗っていたことになるかな。(すいません)そして今度は、スカイラインに乗りかかると、親が勝手に今度はお客様の期待には応えたい。僕も趣味としてやるという意識ではもちろんなかったから、仕事としてつねに完璧を求めています。
司会 ロッキーオートさんのRBのエンジン換装は最近とみに有名ですね。
道邊 やはりGT-RのS20とはちょっと違ったジャンルで、GT-Rをお持ちの方が遊ぶという感覚で、一番大きいのはオートエアコンとかパワステとか、あとはメ

司会 そうですね、あそこは一番特徴的ですね、GT-Rの。
黒田 あのボリネームが非常にセクシーなんです。セクシーと言ったらおかしいんですけど、今の車ではないラインですね。曲面をまわりながら、角をまわりながら、なおかつ突起もあるし、そういう部分です。それで、あのオートパーフェンダーが当時、あれだけ深くフェンダーをえぐっているものはなかったんです。どちらかというと、タイヤは隠れるみたいなぐらいで、深いフェンダーが多かったんです。GT-R、Rというのは、やっぱりそういうグラマラスな。
司会 ということは、エンジンだけの魅力だけではないということですか。
黒田 もうエンジンだけじゃない。ただ、GT-Rはあのラインじゃないですか。
司会 ないですね。
黒田 オートパーフェンダーが、あのサーフィンラインがいいという人もいますけれど、僕は、あのサーフィンラインは好きではないです。
司会 白石さんはどうでしょう？
白石 普通の嗜好にあのエンジンでしようね。
司会 なるほど、普通の嗜好に。



■ロッキーオート 代表取締役社長 道邊貴也

[1971.2生まれ 血液型O型]
黒田社長同様トヨタのメカニクスを専攻。
快速に走るホンダカケンメカ追求。
GT-Rエンジンへの換装など先駆的なアプローチと
お客様の満足度につながるクオリティ重視の「ロッキーオート」は、
その技術力の高さと信頼度で全国にファンを擁している。



■シライシエンジニアリング 代表 白石茂樹

[1923.9.12生まれ 血液型A型]
日産プリンススポーツカーを駆り、
栃土内閣へ及び「シライシエンジニアリング」を設立。
GT-R誕生時より、
30年以上にわたりS20エンジンを愛つめてきたスペシャリストである。
白石マシクで好評になったS20エンジン達が全国で快走している。

選辺 中古車屋で僕が見たころはもう230万ぐらいでした。それがちよと中古車市場に出ておって、非常に「高い」のを買いました。330万で、「エンジン、なかなか掛からんよ」ぐらいのことを言われて、そういうものかと思たんですけど、そういうものかと思たんですけど、すぐに車の販売をされたんですね。
道邊 やめて毎日毎日遊んでいた。親がいいかげん真面目になつて、「トヨタにねじ締めに行け」って言われたもので、それじゃあ車屋やろうとって始めたんです。(笑)。やるからには、やっぱり自分が乗りたい車を目指すもつて、その素直らしさに共感してくださるお客様の期待には応えたい。僕も趣味としてやるという意識ではもちろんなかったから、仕事としてつねに完璧を求めています。
司会 ロッキーオートさんのRBのエンジン換装は最近とみに有名ですね。
道邊 やはりGT-RのS20とはちょっと違ったジャンルで、GT-Rをお持ちの方が遊ぶという感覚で、一番大きいのはオートエアコンとかパワステとか、あとはメ

選辺 中古車屋で僕が見たころはもう230万ぐらいでした。それがちよと中古車市場に出ておって、非常に「高い」のを買いました。330万で、「エンジン、なかなか掛からんよ」ぐらいのことを言われて、そういうものかと思たんですけど、そういうものかと思たんですけど、すぐに車の販売をされたんですね。
道邊 やめて毎日毎日遊んでいた。親がいいかげん真面目になつて、「トヨタにねじ締めに行け」って言われたもので、それじゃあ車屋やろうとって始めたんです。(笑)。やるからには、やっぱり自分が乗りたい車を目指すもつて、その素直らしさに共感してくださるお客様の期待には応えたい。僕も趣味としてやるという意識ではもちろんなかったから、仕事としてつねに完璧を求めています。
司会 ロッキーオートさんのRBのエンジン換装は最近とみに有名ですね。
道邊 やはりGT-RのS20とはちょっと違ったジャンルで、GT-Rをお持ちの方が遊ぶという感覚で、一番大きいのはオートエアコンとかパワステとか、あとはメ

選辺 中古車屋で僕が見たころはもう230万ぐらいでした。それがちよと中古車市場に出ておって、非常に「高い」のを買いました。330万で、「エンジン、なかなか掛からんよ」ぐらいのことを言われて、そういうものかと思たんですけど、そういうものかと思たんですけど、すぐに車の販売をされたんですね。
道邊 やめて毎日毎日遊んでいた。親がいいかげん真面目になつて、「トヨタにねじ締めに行け」って言われたもので、それじゃあ車屋やろうとって始めたんです。(笑)。やるからには、やっぱり自分が乗りたい車を目指すもつて、その素直らしさに共感してくださるお客様の期待には応えたい。僕も趣味としてやるという意識ではもちろんなかったから、仕事としてつねに完璧を求めています。
司会 ロッキーオートさんのRBのエンジン換装は最近とみに有名ですね。
道邊 やはりGT-RのS20とはちょっと違ったジャンルで、GT-Rをお持ちの方が遊ぶという感覚で、一番大きいのはオートエアコンとかパワステとか、あとはメ



■株式会社ファインパーツ 代表取締役社長 黒田義光

[1930.10.2生まれ 血液型A型]
ラジコンに情熱した少年期を経て、青年期は車一色。
トヨタのメカニクスも経験した後、
20年前に精密スプリングのメーカー「ファインパーツ」を創業。
現在、同社内にレーシングチームを持ち、職人かた仕事も担当。
GT-R業界の牽引役として多方面で活躍・注目される人物である。



THE GT-R  
PROJECT KPGC110

DATA

オーナー

会社員  
鈴木さん  
Suzuki

愛知県在住  
生年月日: 5/19/57  
血液型: B型

所有GT-R

年式: 1973年  
型式: KPGC110  
カラー: シルバー  
所有年数: 約半年

購入先

(レストア・チューニング)

ショップ・  
ファクトリー

ロッキーオート

(愛知県岡崎市)

ショップ・  
ファクトリー  
データは

90p - 91p

をご覧ください



1. 1973年型GT-Rのエンジンルーム。赤いエンジンカバーが特徴的だ。  
2. 車庫に保管されているGT-R。オーナーは定期的にメンテナンス  
3. 林間ドライブが好きなオーナーの様子  
4. 1973年型GT-Rのオーナーは、多くは愛知県在住

「ストレス解消も兼ねて、自分の趣味の一環として気に入った車を持ちたい」との思いが次第に強くなる。そして訪れたセッティングショップとの出会い。目下1500台稼働していたのですが、訪ねてみるとノックアウトでもう長かったけれど、最終的に決めたのはやはりエンジンですね。ここまでして何かをせよというものがありません。正直、この車はもう手に入ると聞いてから、もう、やほう子をかけることなくて、ずっと乗り続けられるのがいいですよ。購入した今は、自分の気持ちの甲斐でも満足感があります。夜な夜なこもって、聞いてきて、家に泊めておくと、もうこれで幸せな気分です。



憧れのケンメリGT-Rはやはりエンジンが決め手。とても満足しています。

学生時代に雑誌でケンメリGT-Rを見て以来、ずっと気になってたという鈴木さん。その頃は中古車屋によく行っていたのですが、そこにケンメリが置いてあって、店の人がエンジンをかけてくれたんです。その音にじびれました。エンジンの吹き上げの濃厚な音がずっと頭から離れませんでした。





## RBエンジンを積んだハコスカ。富士を快走。

ロッキーオート製作のRB25を搭載したハコスカHTが富士スピードウェイにやってきました。レーシングドライバーが乗り込みエンジンを始動。

S20とは明らかに異なるエンジン音がサーキットに響き渡る。

RBエンジン用に改良・チューニングがバランス良く施された

現代版ハコスカGT-Rは、その日快調な走りで周回を楽しんだ。





THE GT-R  
RACING LEGEND

## DATA

## オーナー

会社員  
山田欣二さん  
Kinji Yamada愛知県刈谷市在住  
生年月日：53.1.17  
血液型：O型

## 所有GT-R

年式：1971年  
型式：KGC10 (RB25換装)  
カラー：シャンパンゴールド  
所有年数：1カ月

## 購入先

レストア・チューニング  
ショップ・  
ファクトリーロッキート  
(愛知県岡崎市)ショップ・  
ファクトリー  
データは

90p - 91p

をご覧ください。



- 1 RB25が搭載するエンジンルーム。
- 2 この車を乗るとつい遠慮の笑顔になってしまう山田さん。
- 3 1415馬力のエンジンで快道を駆け、新緑の中を走るのは最高の楽しみだといふ。
- 4 5

ステアリングであるほうが乗りやすいです。マニアル車ですが、RBエンジンへの乗換えはもろろん、バウステア、エアコンも付いて、快適に乗れます。パワーも十分。実際に乗ってみての感想は「んー、感動ですね。良かったなと、夢が叶ったという感じが、キャブ車なんです。一番の良さはエンジン音。もうたまりません。自分で乗っててしびれちゃう。何も話さない、音楽も何も聴かないでも、エンジン音だけでいいやと。実用性も大事だけど、追求はしない。完全に趣味の車ですね。」

今後はメーター類をさらにきれいにするなど、自分なりにちょつとずつ手を入れていきたいとか。

釣りが趣味で、普段は釣り用のボートを積むのでハイエースに乗っているという山田さん。「釣りか車かどちらかを手放せと言われたら、ハコスカを売すかな」といふほど、この一台への思いは強く、夢の愛車を手に入れた喜びに満ちた様子だ。



このエンジン音がたまらない。  
長年の夢がかなって  
楽しみが一つ増えました。

昭和38年生まれの山田さんはスーパーカー世代。中学生の頃から町を走るハコスカを憧れのまなざしで見つめていた。今回「年輪的にも頃合いかなと思って」と購入を決意。取材日はちょうど納車の翌日だった。

「ロッキートさんでいろいろと手を入れてもらいました。オリジナルでいっちゃつと迷ったのですが、街乗りするにはチューニングレ





# GT-R PROSHOP

快適を求める旧車ファンの要望に応える  
確かな技術と誠実さ。

## ロッキーオート

旧車のエアコン&パワステが実現。  
RBエンジンの高度な換装で  
外見そのままに変身させます。



旧車にエアコンやパワステを装備したいという声に業界でいち早く取り組み、RBエンジンへの換装でそれを実現したロッキーオート。「ハコスカやZは欲しいが、乗り心地が悪くトラブルも多いのでは困る」とお客様が増えています。特にエアコンの要望が多いですね」と渡辺社長。エンジン換装は、長年のノーマルレストア技術の実績から生まれたもの。「高度なレストア、ノウハウの蓄積があるからこそRBの換装が可能。だから、当社はオリジナルフルレストアにも自信があります」という。外見はまったく変えず、ボディなどを一から強化したうえで新品の現行エンジンを載せる工程は、新車づくりと何ら変わらない。完成後は必ず渡辺社長が試乗して最終調整し、納車では社長自らメリットもデメリットも説明する徹底ぶり。信頼度抜群の大きな理由だ。各都市の旧車イベントでも一番の注目ブースとして人気のロッキーオート。夢のような旧車にますます期待は高まる。

### 【プロフィール】

代表取締役  
渡辺 喜也 生年月日：S71.2  
Yoshiya Watanabe 血液型：O型

### お客様からの推薦コメント



鈴木さん (P62・63で紹介)  
とにかく質の高いレストア車が揃っているの  
に感動でした。現行のRBエンジンへの換  
装も有名ですが、オリジナルのレストア、  
特にエンジンの仕上げは素晴らしいです。



山田欣二さん (P68・69で紹介)  
ここまで乗り手の要望と願望を追求してく  
れるところはなかなか他には無いでしょう。  
やっぱりチューニングのRB仕様のコストは  
今の私にとって大層な仕上げです。

## SHOP DATA

### ロッキーオート (株式会社イーグルコーポレーション)

〒444-0865 愛知県岡崎市明大寺町字大塚55-31

☎ 0564-58-7080

☎ 0564-58-7090

<http://www.rockyauto.co.jp>

rockyauto@rockyauto.co.jp

◎営業時間：10:00～19:00

◎定休日：第2・第4月曜日

- 車両販売(スカイライン・フェアレディZ他旧車)
- 各種レストア ●中古パーツ販売
- チューニング(L28改、RB25・26改)
- 持ち込み車両制作OK
- 各種オプション取付 ●車買取

## MAP

